

監修 国立環境研究所

指導 国立環境研究所

地球環境研究センター 主任研究員 塩竈 秀夫
生物・生態系環境研究センター センター長 山野 博哉

地球環境研究センター 研究員 中岡 慎一郎

一般向け [DVD・約21分]

異常気象 地球で今、何が... 地球温暖化対策を考える



今、地球で
何が起きているのか？

生態系への影響は？



私たちにできること



映学社作品

一般向け

異常気象 地球で今、何が 地球温暖化対策を考える

企画意図

地球温暖化は、異常気象や生態系の変化など、地球上の生物に様々な影響をもたらしています。もしこのまま対策が講じられなければ、激しい気候変動や海面上昇などによっておそろしい未来がやってくることも予想されています。

原因として考えられているのが、化石燃料の大量消費による二酸化炭素の排出量の増加です。温暖化は、すぐに食い止めることはできませんが、最悪の事態を避けるためにも、二酸化炭素の排出量削減に叡智を結集しなければなりません。この作品では、現実には起きている環境問題や温暖化のメカニズムをひもとくと共に、環境問題の先進国ドイツの事例や国内のNPOの活動事例を紹介しながら、一人ひとりに何ができるか、何をしなければならないかを考える内容となっています。

作品概要

●導入

豊かな生命にあふれた星、地球…。今、その環境に急激な変化が生じている。世界的に進む異常気象。今、いったい何が、私たちの地球に起きているのか？

●COP21

2015年11月30日から12月12日まで、フランス・パリで、気候変動枠組条約第21回締約国会議【COP21】を開催。日本政府は、2030年までに、二酸化炭素排出量26%の削減を目指す。

●地球環境の変化

最近160年ほどの地球の平均気温の変化を見ると、ここ100年で、それ以前とは明らかに異なる上昇を示している。世界の平均気温は0.85度上昇し、その傾向が、今も続いている。

●温室効果ガス

それは地球を保温する効果のある気体で、メタンやフロン、水蒸気、一酸化炭素などがあるが、人間活動に伴って気

候に最も大きな影響を与えているのが、二酸化炭素と考えられる。温室効果ガスが増えるといった地球にどんなことが起きるか、専門家の解説を交えて説明する。

●海の水の酸性化

海水を使った酸性化実験。海水の酸性化で予測される深刻な影響とは？

●温暖化を防ぐ取り組み

電気や水の無駄遣いを防ぐ、レジ袋を使わないなどの個人的な取り組みから地域ぐるみの取り組み、またドイツの例を始め、国際的な取り組みもわかりやすく解説する。

●まとめ

地球温暖化は、一人の力で食い止められるものではない。しかし、一人ひとりの力は小さくても、日本全体で、そして世界全体で取り組んでいけば、必ず大きな力となり、未来は大きく変わるだろう。

●ライブラリー価格 本体¥65,000+税
●DVD [カラー・約21分]

監修：国立環境研究所 地球環境研究センター
主任研究員 塩竈 秀夫
生物・生態系環境研究センター
センター長 山野 博哉

指導：国立環境研究所 地球環境研究センター
研究員 中岡 慎一郎

協力：埼玉県戸田市教育委員会
横浜市温暖化対策統括本部調整課
特定非営利活動法人ソフトエネルギープロジェクト
横浜市立新井中学校
埼玉県戸田市立美谷本小学校
エコライフDAYとだ実行委員会
木目沢 光亮

企画・制作統括 高木 裕己
脚本・演出 細見 吉夫
撮影 渡邊 忍
制作 北西 洋一
ナレーター 松本 寛子
コーディネーター 斎藤 晃顕